

ウガンダにおける供与された医療機材管理の現状と課題

佐藤結香¹⁾、小野等¹⁾、中川友也¹⁾、齋藤大造¹⁾、
中村藤夫²⁾、久保野勝男²⁾、長濱大輔²⁾、追手魏²⁾

1) 新潟医療福祉大学大学院 医療福祉学研究科

2) 新潟医療福祉大学 臨床技術学科

【背景・目的】開発途上国で使用されている医療機材の約80%は、援助機関から支援されたものと言われている。様々な医療機材が支援される一方、現地医療従事者の技術や知識、修理技術不足により適正使用されていない医療機材が存在することも事実である。それらが原因で起きる故障等の不具合、修理技術不足による未修理の医療機材の存在という状況が起きている。

WHO が策定した援助機関と受入国の医療機材に関する指針の中には、1)医療機材援助は受入国に利益をもたらさなくてはならない、2)医療機材は受入国の受入基準に沿っていないとしない、3)受入国の規格に満たない医療機材は援助してはならない、4)援助国と受入国は協調しなくてはならない、という4つの基本方針が出されている。

ここでは、青年海外協力隊の隊員としてウガンダ共和国に派遣された経験を基に、ウガンダ国内の供与された医療機材管理の現状と課題を報告する。

【方法】ウガンダ国内で青年海外協力隊の隊員(以下、隊員)が派遣されている3施設(それぞれX、Y、Zとし、病床数は約350床、200床、440床である。)を対象とした。なお、施設XとYには、医療機材の使用・管理方法を指導する臨床工学技士の隊員が派遣され、施設Zには5S活動を指導する看護師の隊員が派遣されていた。(5S活動は整理・整頓・清掃・清潔・躰を意味し環境改善を目指す。)

また、医療機材はウガンダ保健省(以下、保健省)によって、医療機材一覧表(以下、一覧表)の作成とその一覧表を基に全ての機材に対して、Status A: 使用されており良好な状態、Status B: 使用されていないが良好な状態、Status C: 使用可能だが修理が必要な状態、Status D: 使用されているが古い機種の為、新規購入が必要な状態、Status E: 使用されていないが修理可能な状態、Status F: 使用されおらず修理も不可能な為、廃棄が必要な状態、と分類することが各施設に義務付けられている。

またStatus Bは細かく分類する為、B-1: 扱えるスタッフがいない・需要がない状態、B-2: 使用に関する勉強会が必要な状態、B-3: 消耗品が必要な状態、B-4: 予備として保管(過剰に所持している)状態、と4つに分けた。

これらの一覧表を基に、援助機関から供与された医療機材の状態について調査し比較した。

【結果】対象施設X(n=530)において、Status A: 45%、Status B: 32%、Status C: 4%、Status D: 3%、Status E: 11%、Status F: 5%であった。Status Bでは、B-1: 5%、B-2: 12%、B-3: 5%、B-4: 77%、該当なし: 1%となった。(nは一覧表に登録された医療機材数を表す。)

対象施設Y(n=417)において、Status A: 52%、Status B: 26%、Status C: 4%、Status D: 5%、Status E: 10%、Status F: 1%であった。Status Bでは、B-1: 2%、B-2: 18%、B-3: 11%、B-4: 67%、該当なし: 2%となった。

対象施設Z(n=573) Status A: 28%、Status B: 32%、Status C: 11%、Status D: 5%、Status E: 17%、Status F: 6%、不明: 1%であった。Status Bでは、B-1: 2%、B-2: 2%、B-3: 8%、B-4: 88%となった

【考察】修理を必要とするStatus CとStatus Eの全体に占める割合が、施設Zが他2施設より多かった。これは施設XとYには臨床工学技士の隊員が派遣され、適正な使用ができていないことで不具合が少なく、不具合が起きても必要に応じた対応・修理ができていないことを示していると考えられる。また施設XとYにおいて、Status Aがそれぞれ全体の半数を占めていることから言える。

次にStatus Bにおいて、3施設ともにB-4が全体の大部分を占めていた。各援助機関から医療機材が過剰に供与され、使用されていない医療機材が多いと予測でき、需要数と供給数のミスマッチが起きていると考えられる。

以上のことから、援助機関側にも問題があると言える。供与後に管理や使用に関するフォロー体制が十分でない、過剰に機材を供与しているということである。その結果、使用できない、或いは使用されないまま、保管されている医療機材が存在し、有効に活用されているとは言い難い状況である。

【結論】供与された医療機材の課題として、3施設における以下の3つの共通点を挙げる。

1. 使用方法や管理方法のフォロー体制が必要である。
2. 医療機材の状態や管理機材数を事前に調査し、適切に供与する必要がある。
3. 援助機関(JICAやKOICA、USAID等)が互いに連携が取れる仕組みや取り決めが新たに必要である。

【文献】

- 1) Uganda Ministry of Health : Operation Manual for Regional Medical Equipment Maintenance Workshops and Medical Equipment Maintenance Guidelines : 123-124, 2013
- 2) WHO : Guidelines for Health Care Equipment Donations, Evidence and Information for Policy(EIP), Organization of Health Services Delivery, WHO/ARA/97.3 : 2000